

【一】 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

世界で最初に広域大気汚染の洗礼を受けたのは、英国だった。早くから森林を失って、燃料源を石炭に頼ってきた英国の大都市や工業地帯では、煤煙や硫酸黄化物による被害がすでに一七世紀には問題になっていた。

(A) 放っておけなくなつた英国議会は、一八六二年にダービー伯を議長とする特別委員会を組織して、その翌年「アルカリ法」を制定して規制に乗り出した。その監視のために、初代のアルカリ監視官に任命されたのが、ロバート・アンガス・スミスだった。世界最初の公害監視員である。しかし、住民の支持を受けて、少しずつ排出源に塩酸の吸収装置を設置させることに成功した。この塩酸公害は、一九世紀末に塩酸を出さないソルベール法が普及してから、やっと収まった。

(B) 大気汚染が酸性雨として問題になったのは、一八世紀後半に英国を中心にソーダ工業(アルカリ工業)が勃興して以来である。X、食塩からソーダを工業的に製造するルブラン法が一七九一年に発明されてからは、石けんやガラスの原料として爆発的に生産が拡大した。

(C) 一六六一年に作家ジョン・イブリンが著した『フミフギウム』(「煙の駆除」の意味)は、「石炭から出る地獄のような陰気な煙は、ロンドンをシシリー島の火山やバルカン(火と鍛冶の神)の法廷のように覆っている」として、何世紀もつはずの硬い石や鉄が煤煙のために腐食され、肺結核や風邪がはやっていることを生々しく描き出している。

(D) だが、食塩と硫酸を反応させてソーダを製造するルブラン法の工程で、塩酸が発生して工場の付近一帯に酸の雨が降ることになった。ニューカッスル、グラスゴーなどの工場周辺では、畑も森林も一面に枯れてしまった。一八六二年五月一二日のロンドンの『タイムズ』紙は、その模様をこうルポしている。

Y 豊かだった田園は、まるで死海の沿岸部のように荒涼たる光景に変わってしまった。いくら見まわしてみても、葉をつけた木は一本も見当たらない」

(E) 産業革命を経てさらに石炭の消費が拡大した一八世紀後半になると、Z 被害は拡大してくる。一七七二年

に、イブリンにならって『フミフギウム』の新版を出版した博物学者のギルバート・ホワイトは、この序文で「ロンドン周辺では庭の果物も実らなくなり、葉さえ落ちている。生まれ育った子供の半数は二歳以下で死んでいる」と、空気の汚れが深刻化している様子を述べている。

(石 弘之 著 『酸性雨』による)

一、段落(A)～(E)は順序がかえてある。正しい順序になおし、解答欄にA↓B↓C↓D↓Eのように記しなさい。

二、本文中から次の文が抜けている。この文の入る場所はどこか。この文が入る後の文の最初の五文字を抜き書きしなさい。ただし、句読点も字数に含めること。

だが、工場側は規制に猛反発して、彼の立ち入り検査などにはまったく応じなかった。

三、本文中の二重傍線部に 模様 とあるが、この語に意味のよく似た語を本文中から選んで抜き書きしなさい。ただし、漢字二文字である。

四、本文中の空欄部X～Zに入るものとも適切な語を以下の語群から選んで記号で答えなさい。

語群・・・(い)かつて

(ろ)あにはからんや

(は)まさしく

(に)実際に

(ほ)とくに

(へ)いよいよ

【二】 次の文章を読み後の問いに答えなさい。

なるほど、いつの時代でも魔女は人に憎まれ、恐れられ、ときには支配者によって弾圧されたこともある。魔女の弾圧のもっとも古い例は紀元前一二〇〇年のエジプトにあり、ギリシャではデモステネスの時代(紀元前四世紀)に一人の魔女が処刑されており、ローマではネロやカラカラ帝によりきびしく迫害され、キリスト教に改宗直後のコンスタンティヌス帝(紀元四世紀)やフランク王国のシャルル大帝(紀元九世紀)も呪術を禁ずるきびしい法令を發布している、というように、魔女とその呪術に対する弾圧や迫害の例は珍しくはない。

しかし、ここで記憶すべきことは、A コンスタンティヌス帝が前記の禁令を出した二年後に、「病気をなおすため、あるいは雹や雪から農作物を防護するために行なう呪術を禁ずることは皇帝の望むところにあらず」と布告した例にもみられるように、魔女が迫害されたのは魔女であるからではなく、魔女が呪術を用いて人を殺し農作物を枯らすというような悪を行なうからであった。病気をなおし作物を保護するような善を行なう呪術はB 喜ばれ擁護された。帝王や貴族、C、聖職者すら、しばしば多くの魔女をかかえて彼らの呪術を利用してゐる。したがって、魔女に対する弾圧や迫害は、魔女そのものに対してではなく、魔女が行なう反社会的な犯罪に対してであった。D 刑法的な犯罪一般に対する弾圧の一部分に過ぎなかったのである。

また、E 魔女の刑事的行為の摘発や処罰も決して組織的なものではなく、散発的、ときには恣意的ですらあった。(シャルル大帝が死刑をもって魔女を処罰するというきびしい法令を發布しながら、のちには魔女を焚殺することは殺人罪に相当すると布告したなどは、その一例であろう。)

これを、「善を行ない益をもたらすといえども、魔女は悪魔と結託した者であるがゆえに生かしておいてはならぬ」として死刑が原則となった魔女裁判時代の魔女観とくらべれば、その間に重大な本質的な変化が起こったことが想像される。

一、本文中の空欄部A～Eに入るもっとも適切な語はどれか。以下の語群から選んで記号で答えなさい。

語群・・・(い) いわば (ろ) いわゆる (は) むしろ (に) 調べてみれば

(ほ) すなわち (へ) そうした (と) いや (ち) たとえば

(り) しかし (ぬ) ゆえに

二、本文中の波線部に、その間に重大な本質的な変化が起こったことが想像されるとあるが、そのように想像される理由を次のように説明する時、空欄部X～Zに入るもっとも適切な言葉を本文中から選んで抜き書きしなさい。ただし、Xは漢字6文字、Yは漢字2文字、Zは漢字4文字である。

Xより前は、確かに魔女は弾圧や迫害の対象になることもあったが、しかしそれは魔女がYであるからではなく悪をなしたからである。つまり魔女のZな行為が問題であったのである。ところがその時代になると、どんな魔女も悪魔と結託しているという理由で原則的に死刑が適用されるようになった。そこに大きな違いが見られるから。

【三】 傍線部の漢字の読みを示しなさい

- ① 漆塗りの器を手に入れる。
- ② 取材記事に現場写真を挿入する。
- ③ 百円未満の端数は切り捨てる。
- ④ 海外進出への布石を打つ。
- ⑤ 売り上げの減少分を補填する。

【四】 傍線部のカタカナを漢字にしなさい。

- ① トウゲイ教室で大皿を作った。
- ② ケイヤクに基づき債務を履行する。
- ③ 水流を電力にヘンカンする。
- ④ カライ味付けの料理を好む。
- ⑤ コウカイ先に立たず。